



紀々(きき)  
1998年に早稲田大学第一文学部哲学  
学科東洋哲学専修を卒業後、電子オ  
ルガン奏者に。2003年にコーチ  
ングの資格取得後、企業・個人のサポ  
ートを始める。哲學家。企業研修や  
ブログ「紀々の記」等を通じて、働く  
現場の元気度アップに取り組むと  
ともに、音楽、レーザークラフトなど  
広い分野で活躍中。

# 「未来」と「本来」の関係

「そういえば…」と  
自分のルーツを見直すそう

「うちのメンバーが、こんなに紀々  
さんについていくのはなぜだろう、  
と、思ってしまうんです」

私が、ある企業の若手リーダー研  
修を担当している時、とある経営者  
の方に聞かれたことがありました。  
自分ではよくわからなかったのです  
が、その話を聞いた母が、あっさり  
答えてくれました。

「だって、あなたは、子どものこ  
ろからリーダーだったじゃない!」  
そう言われて振り返ってみると、  
私が初めて応援団を務めたのは、幼  
稚園のころでした。学級委員は、小  
学校から高校卒業まで、ほぼ毎年担  
当していました。転校した先々の学  
校でも、なぜか推薦されてしまうの  
で不思議でした。

さらに、いじめや小さな不協和音  
のあるクラスを一つにまとめること、  
不登校の級友に学校に来てもらうよ  
うに働きかけること、合唱コンク  
ールに向けて一致団結するよう、盛り  
上げること…など、体当たりで取り  
組んでいたことを思い出しました。

そして、コーチングのプロとなっ  
た今、私が取引先の企業で取り組ん  
でいることも、子どものころに私が  
やっていたことと同じであることに  
気づき、ハッとしました。

「ルーツは、幼稚園にあった!」  
最近、あらためて感じるのが、こ  
のルーツを見直すことの大切さ。  
支援先の企業の現場でも、より意識  
するようになりました(自分自身、  
今、ハチマキが似合うのも、幼稚園

のときに務めた応援団が天職である  
証しかも…と、思っています。

例えば、「一つのことをコツコツ  
続けるのが苦手です」という人がい  
たら、こう問いかけることにしてい  
ます。

「それは、昔からですか?」  
多くの人の場合、少し驚いた表情  
をするのと同時に、しばらくの沈黙が  
あつてから、「そういえば」という  
答えが返ってきます。次のように…

「そういえば、野球部にいたころ  
はコツコツ練習していました」  
「そういえば、小学生時代、夏休  
み中は、空の観察日記を熱心に書い  
ていました」

「そういえば、小さいころは『○  
シール』にハマっていて、それを  
コツコツ集めていました」  
「そういえば、新人社員のころは、  
その日に覚えたことを細かくノート  
に書いていました」

このように、さまざまな「そうい  
えば」に出会うことができます。  
ここで覚えてくるのは「それは、  
〆本当は、あるいは〆本来は、無理  
なことではなかった」という、一つ  
の風穴。このような、いわゆる「ルー  
ツ」を見直す作業によって、「今、  
弱点だと思っているものは、実は、  
持つて生まれた性質に起因するもの  
ではなかった」ということがわかっ  
てきたりするので。

## アルバムからも見えてくる 今、力を発揮できない理由

したがって、「私には弱点がある。  
それを招いた原因は何?」と悩んで

いる人がいたら、私は「本来はでき  
るのに、今は、単にできない状況に  
なっているだけでは?」と一緒に向  
き合ってみることにしています。

もちろん、そもそもの性質に起因  
する場合もあるので、多くの人が、  
「状況」「環境」「条件」  
といったところに「本来できること  
が、できなくなってしまう」原因  
があるのではないだろうか。

そして、ここでも、「そういえば、  
あのころは」と思い出してみると、  
いろいろなことが見えてきます。  
・もつと気持ちに余裕があつた。  
・楽しみながら取り組んでいた。  
・「やらされ感」がなかった。  
・一緒に取り組む仲間がいた。

・目標がハッキリしていた。  
・ライバルがいたから、モチベーショ  
ンが下がらなかつた。  
こんなふうな具体的な原因が見え  
てくると、解決するための具体的な  
アイデアを考えやすくなり、体も、  
より動きやすくなっていくように思  
います。

「未来(ゴール)」を目指して行き  
詰まった時には、ぜひ、「ルーツ(本  
来の自分)」に目を向けてください。  
本来と未来がバラバラだと、いろい  
ろと動きづらなものですが、逆に、  
それが一直線上につながると、ビツ  
クリするようないしつくり感が生  
まれます。自分自身に起こる変化の  
スピードも、グッと違ってくるはず  
です。

「本当の自分自身は、どうだった?  
け?」と、時々、アルバムを見なが  
ら振り返ってみるのもオススメです。  
あした…転機に、なあれ!

あした=のルーツは、  
どこですか?

